

アンケート調査の実施について

本年度は以下の2種類のアンケート調査を行うことを予定している。

1. 住民アンケート調査

(1) 調査の目的

公共交通システムの評価においては、実際の利用者の声を聞くのは当然のこととして、公共交通利用者以外の意見についても聴取する必要がある。これは、昨年も秋祭り会場におけるヒアリング調査によって把握しているところであるが、十分な票数が獲得できないため、今年度は、より多くの人の意見が得られるよう、村内全世帯に対して大規模に実施することとしたものである。

(2) 調査の方法

①調査時期

平成22年8月下旬～9月中旬

②調査対象

世帯単位で実施。村内全800世帯に配布。

③調査方法

「広報いくさか9月号(8/25配布)」に併せ、全世帯に配布。約2週間の回答期間を経て、町会を通じて回収する。

(3) 調査内容

アンケート調査における質問事項および活用方法は、次の通りとする。

項目	質問事項	活用方法
基本属性 【世帯まとめて】	<ul style="list-style-type: none"> 居住地 家族構成(年齢、性別、就業状況等) 日常の交通手段 	<ul style="list-style-type: none"> 属性別の分析に利用(地区別、年代別の状況)
公共交通施策の 認知度 【個人単位で】	<ul style="list-style-type: none"> 犀川線、周回バスの存在の認知度 H21年度からのリニューアル運行 バスの運行内容(区間、頻度、運賃等) 	<ul style="list-style-type: none"> 施策に対する認知度を把握
公共交通 の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 利用の有無、頻度、利用目的 使わないor使えない理由 	<ul style="list-style-type: none"> 村民全体に対するバス利用者層の把握 使わない人の利用を探り、対応策を検討
公共交通の 費用負担のあり方	<ul style="list-style-type: none"> 税金投入の実態の認知度 今後のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> バスに対する意識の啓発
その他	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通に対する自由意見 	<ul style="list-style-type: none"> 選択型のアンケートでは拾いきれない公共交通に対する幅広い意見・要望を拾い、計画に反映

2. 利用者アンケート調査（乗り込みヒアリング調査）

（1）調査の目的

紙面のアンケート調査からは得られない利用者の生の声を極力とりいれ、評価検証に活かすため、調査員が車内に乗り込んで利用者から直接意見を聞く形式の調査を行う。昨年度調査との比較も行えるよう、基本的には同様の調査とする。

（2）調査の方法

①調査時期

平成 22 年 10 月上旬の平日 1 日

- ・通学利用者の休業時期などに掛からない定常的な時期に実施する。

②調査対象

- ・当日の犀川線および周回デマンドバスの全便

③調査方法

- ・調査員がバスに乗り込み、所定のヒアリング用紙に則ったかたちで利用者から話を聞く。

（3）調査内容

アンケート調査における質問事項および活用方法は、次の通りとする。

項目	質問事項	活用方法
基本属性	・居住地 ・年齢・性別 ・職業 ・免許の有無	・属性別の分析に利用 (地区別、年代別の状況)
当日の公共交通 利用実態	・利用した交通機関種別（幹線・周回） ・乗車バス停 ・目的地、目的行動 ・移動時刻 他 ※往復分について把握	・利用者の利用パターン等の把握 ・ダイヤ、ルートなどの見直しの基礎情報
新システム への評価	・ルート、ダイヤ、乗継ぎ ・運賃 ・わかりやすさ ・予約受付方法 ※幹線、デマンド別に調査	・施策の評価、運行内容改正の材料 ・デマンドシステムの運用状況把握
公共交通の 費用負担のあり方	・公共交通維持に必要な費用をだれが負担すべきか（利用者負担とするか行政が負担するか等）	・路線維持に必要な費用負担のあり方の検討
利用促進	・バスの利用回数を増やせるか ・新しいニーズの掘り起こし可能性	・利用促進策の検討
その他	・公共交通に対する自由意見	・選択型のアンケートでは拾いきれない公共交通に対する幅広い意見・要望を拾い、計画に反映